

〔畜産農家の声〕

～乳・畑 複合経営～
倉敷市 難波明朗

(備中県民局畜産第一班)

山が海まで迫る瀬戸内海のどこにでもありそうな港町・・・

そんな備中県民局管内でも東南の端、下津井で細々と酪農をやっています。二代目は危ないと言いますが、その大役を何とか終えようとしています。

我が家の特長といえば、20頭と少数ながらフリーバーンでバケット搾乳をしています。牧草は作付けしていませんが、段々畑の畦草の青刈りを年中与えています。敷料も、ノコ屑・カンナ屑を大工さんや工務店等からいただき、もみ殻とあわせて何とか買わずにすんでいます。堆肥の方は、近所の家庭菜園の方々に喜んで使ってもらい、農繁期には待ってもらおうほどで、これも「皆さんに支えられて酪農を続けさせてもらえる」と感謝しています。



狭い畑では、野菜・花を作り、JAの青空市へ出荷していて、朝は搾乳が終わると急いで荷造り・出荷、昼間は畑の管理と忙しい毎日を送っています。さしずめ”乳・畑複合経営”でしょうか？

都市近郊(?)ということもあり、人目につくことも多く、その意味では、全国の酪農家の代表と思い、牛舎の美化には気を遣います。もっか酪農支援チームの助言を受け、環境整備を行っているところですが、なかなかできないのが現状です。

とある乳業メーカーが「その牧場の牛乳を飲んでみたくなる牧場作りを」と言っていますが、まさしくこれからは牛の環境が問題視されてくると思います。(生乳の取引もそのうちに・・・)

まだまだ未熟ながら(いい年こいで・・・) これからも細々ながら酪農を、百姓を、自然の中で続けられればと考えているところです。

近くに來られたら寄ってください。

牛を見にではなく、景色を觀に・・・。

今日も良い天気ダ～。
おいしい牛乳が
いっぱい出そうダ。モ～

